

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 令和7年11月26日(金)

2、開催場所 燕三条エフエム放送会議室

3、委員の出席 8名(うち2名はレポート提出)

・委員総数 …… 8名

・出席者氏名…長谷部直美委員長、齋藤和也委員、瀬戸明委員、西山丈基委員、遠藤愛子委員、堀越巖委員
(レポート提出)諸橋美香委員、野崎ミチコ委員

・欠席者氏名…なし

・事務局出席者…阿部まゆ子局長、高井唯行

4、議題

(1)「特別番組 第43回燕青空即売会」(10月5日 10:00～12:00放送)
出演:浅妻真也 竹内由貴(現地レポーター)

長谷部直美委員長

燕三条エフエムは「身近で、役立つ放送局」です。この審議会に参加させていただき、みんなの率直なご意見、遠慮なく話せる雰囲気がいいと思います。今回も様々なご意見をお願いしたいと思います。

阿部まゆ子局長

本日は社長が所用で会を欠席させていただいています。

10月31日に総務省信越総合通信局で弊社の再免許更新の交付を受け、向こう5年放送できる運びとなりました。今後もよろしくお願ひいたします。

収益を上げるべく様々なイベントを手掛けておりますが、来年3月7日に三条市中央公民館にてコンサートを開催する予定です。詳細は追ってご案内いたします。

本日も番組審議をよろしくおねがいいたします。

長谷部委員長

私自身「燕青空即売会」自体、存じてなく、全体像が見えませんでした。そんな状態でこの番組を聞き思つたことは、もう少し詳しく会場についてお話ししたければよかったです。

テントがどのくらいあるとか、会場内の広さ(沿道の長さ)、来場者の数など、番組の初めに紹介されているとよかったです。そして「たくさん的人が」「多くの人が」「多数あった」など抽象的表現が多く、具体的な数字を離されるといいです。

西蒲法人会のブースの「1億円札束の重さの紹介」「芋煮ブース」のところは楽しい雰囲気が伝わっていました。

齋藤委員

43年やっているイベントなんですよね。素晴らしいイベントで、掘り出し物が多く販売され、楽しみに待っている方も多いです。レポーターの方は、素直に伝えて来場していただくという表現があればいいと思います。

委員長も言っておられましたが、番組の初めに「燕青空即売会」の歴史的背景を伝えるといいと思いました。なぜこのイベントが始まったのかがあるといいです。そして抽象的表現より具体的表現でお話しされると番組がよりよくなつたのではないかと思います。「地域の特産物の紹介」や「イベントのタイムスケジュール」などもあるといいと思います。

質問ですが、インタビューを取り上げた相手の基準はあるんですか？

阿部局長

このような番組は初めての試みで、若干準備不足もありました。取り上げたインタビュー相手は有料告知扱いの企業さんです。

齋藤委員

ありがとうございます。来年もいろんなイベントがあるので、このような番組をする際は、番組の前後でイベント概要などの説明をしたほうがいいと思います。それを聞いて会場に行きたくなる番組になるかなと思います。

堀越委員

燕市職員として、このイベントを番組として取り上げていただきありがとうございます。

データがありますので紹介しますが、今回の来場者数は6万1千人でした。70%が燕市外の方で、県外來場者は7%でした。売り上げは全体で2279万円で前年比109.7%でした。アウトレットバザールなので、正規商品であれば1億円規模の売り上げだったのではという金額です。

番組を聞いての感想ですが、全体像がよくわかりませんでした。どんなところで開催されているのか、会場内歩くとどのくらい時間がかかるのか、駐車場は何台止められますとか、そして商品の具体的な紹介などの説明がないでそう感じました。

インタビュー相手もスポンサーだけではなく、各社人気商品ベスト3はこれ！とか、こんなものがあります、なんていうのがあるといいです。聞いている方に役立つ情報をだしてほしいですね。

阿部局長

実は、会場内でこの番組の放送を流していました。聞かれていた方も多いかったです。

遠藤委員

当日お天気が心配だったのですが、何とか晴れてよかったです。私は実際会場に足を運んだのですが、駐車場の表示が少なく大変でした。

番組ですが、どんな出展者がいて、雰囲気が伝わり切れていないつかのような気がしました。

阿部局長

駐車場の案内とか、迷子の案内などを実行委員会にお願いしていましたが、当日はありませんでした。

西山委員

同録CDを3回聞きました。ラジオ聞く習慣がないのですみません。

私も、この番組は何のためにやっているのか、適切な言葉が聞けず、どれくらいの人が聞いていたのか疑問でした。インタビュー相手は偏りがあるような感じがしました。あと、全体像を紹介するコメントが欲しいです。スタジオと現場のやりとりがないので、録音番組かと思いました。

瀬戸委員長

私も番組の初めに「燕青空即売会」のストーリーがあるといいと思いました。前は、吉田駅や燕三条駅から送迎バスがあったんですよ。そんな話を盛り込むとおもしろいですよ。ですので、聞いた感じはつかみどころがない印象でした。出店企業の情報にしても、「それ何ですか?」という聞き方ではなく、レポーター自身が勉強した上で、相手と話をするとき興きや広がりが出たのではないかと思います。

西蒲法人会のレポートも、1億円の重さだけでなく、「税金」を知らせるためのブースですので、もう少し税に対する質問があつてもよかったです。

スタジオにいた浅妻さんもいっしょにレポーターとしてでればいいんじゃないですか?

阿部局長

この番組は最少人数で制作しておりまして、各所で役割分担して番組を作りましたので、そういうことがなかなか叶いません。

瀬戸委員

「燕青空即売会」のわかる人ではなく、知らない人に向けての番組つくりをしてほしいです。
「素人でもわかる番組」とでもいうんでしょうか。

斎藤委員

昔は会場にステージイベントもあって賑やかでした。今はアウトレット販売が主ですから。

堀越委員

「知らない人が聞く」ということを前提に番組作りするといいのかもしれませんね。

【レポート提出】

諸橋美香委員

冒頭の「燕青空即売会」の説明で、特別番組として取り上げた趣旨がよくわかり、さらに、出店企業や来場者のインタビューから、良い商品をものすごくお得に買うことができるイベントだということがストレートに伝わってきて、「行きたい!」と思わずにいられませんでした。その中で気になったことは次の点です。

- ・物品販売ブースの紹介…スポンサー企業に偏った印象も強く受けました。
- ・飲食ブースの紹介…インタビューに取り上げた基準がよくわかりませんでした。具体的には、「燕青空即売会」への期待値に対し、たぶん期待していないからだと思うのですが、西蒲法人会のインタビューがとても長く感じました(1億円が目玉だったのだとは思いますが、放送時点でのクイズのプレゼントが残り少ないのなら、取り上げなくともよかったです)。

例えば、西蒲法人会や南陽市の芋煮のみを取り上げるのではなく、飲食店ゾーンの出店数や販売しているもの、初出店のものなどを紹介していただけたとありがたいなあと思いました。

野崎ミチコ委員

私は、第43回ともなる「燕青空即売会」は行ったことがありませんが、竹内さんの明るいレポートと渋い声の浅妻さんのスタジオ案内で、販売会の様子を身近に感じることができました。

まだお顔を拝見したことがありませんが、浅妻真也さんの声は、二枚目の雰囲気が漂っていて、中年女性の心を引き付けます。番組でかかった曲も、さとちんの番組でかかる曲より、私の好きな方向性の曲でうれしかったです。

竹内さんのレポートでは、商品紹介をする時、少し間が空きすぎでは?と感じるところと、会話の中で「在庫を眠らせておく」との言葉がありましたが、商売上、決して良い状態のことではないので、もっと他の適切な表現がよかったです。

番組 자체は、明るい進行でよかったです。

(2)その他 次回の番組審議委員会の日程について
次回開催は、3月下旬予定(1月は気象等で荒天が予想されるため休会)。

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容方法及び年月日
自社放送 令和 7年 11月 27日(木)
書類のエントランスホールへの備置き 令和 7年 11月 28日(金)
自社 HP 上に記載 令和 7年 12月 1日(月)

6、その他、参考となる事項
特になし。